

プログラム科目 皮膚科

診療部長

山田秀和

指導医

- 山田秀和 教授
- 磯貝理恵子 診療講師

診療実績

手術 レーザー関連 800件 外来小手術 400件 生検 500件

中央

レーザー20件(年)、中央手術 100件

美容皮膚科

しわ、しみの治療(脱毛レーザー、レーザーフェーシャル、ケミカルピーリング、フィラー、外用療法など)、
寮生色素性病変治療; Pico second LASER

レーザーを用いたあざの治療: Qスイッチアレキサンドライトレーザー、ロングパルスアレキサンドライトレ
ーザー、V-beam、QNdYAG、LNdYAG、フラクショナルレーザー、Co2 レーザー、外用療法

アトピー性皮膚炎

抗加齢療法外来(アンチエイジングドック、抗酸化療法、ホルモン補充療法、)

漢方治療(漢方専門医による)

認定施設

- 日本皮膚科学会認定施設
- 日本アレルギー学会認定施設
- 日本東洋医学会認定施設
- 日本抗加齢医学会認定施設

入局後の勤務予定

- 外来再診 1コマ(皮膚科研修歴 1 年後から)、予診はすぐ、ほぼ毎日。手術、レーザー治療など
- 入院受け持ち: 5 人/日
- 当直: 月 2 回程度

- 外勤:週1回

大学院生の臨床業務

該当なし

入局後の進路選択

専門医、認定医について

日本皮膚科学会新専門医制度における、基幹病院となっている。皮膚科専門医を5-6年で取得可能。希望者はさらにアレルギー学会認定医、東洋医学専門医、抗加齢療医学認定医、美容皮膚科専門医取得可能。関連病院就職、海外留学、論文博士取得は相談に応じます。

当科における業績

研究テーマ・実績

- 抗加齢医学研究(見た目と老化;ゲノム医学)
 - 美容皮膚科(レーザー治療、ケミカルピーリング、若返り治療)
 - アトピー性皮膚炎の治療
 - 褥瘡:創傷治療(認定看護師との共同)
 - あざのレーザー治療
 - 漢方治療
 - ダーモスコピー
-

外勤について

週1日の外勤は可能です。その他、美容皮膚科関連多数。

診療部長抱負

皮膚科勤務医として生活するには、皮膚外科をすること、救急対応が可能なこと、全身的診断治療を行えることが必要である。その意味で、研修医は救急対応ができると思われる。内科的診断治療の基礎ができていることは今後の皮膚科医に重要である。当科では、皮膚科の基礎であるアレルギー疾患へのプリック、パッチテストなどでの診断・治療と、さらに、皮膚悪性腫瘍の遺伝子診断に基づく個別医療を目指して、分子標的薬や免疫療法を行う。皮膚外科や美容皮膚科(レーザー、など)領域の臨床的検討を加えながら、スピーディーで無駄のない医療を行いたい。腸脳皮膚相関に基づく皮膚の病態生理をつねに考えながら臨床をおこない、全身からみた皮膚に注目する皮膚科医を目指したい。

專門研修連携施設